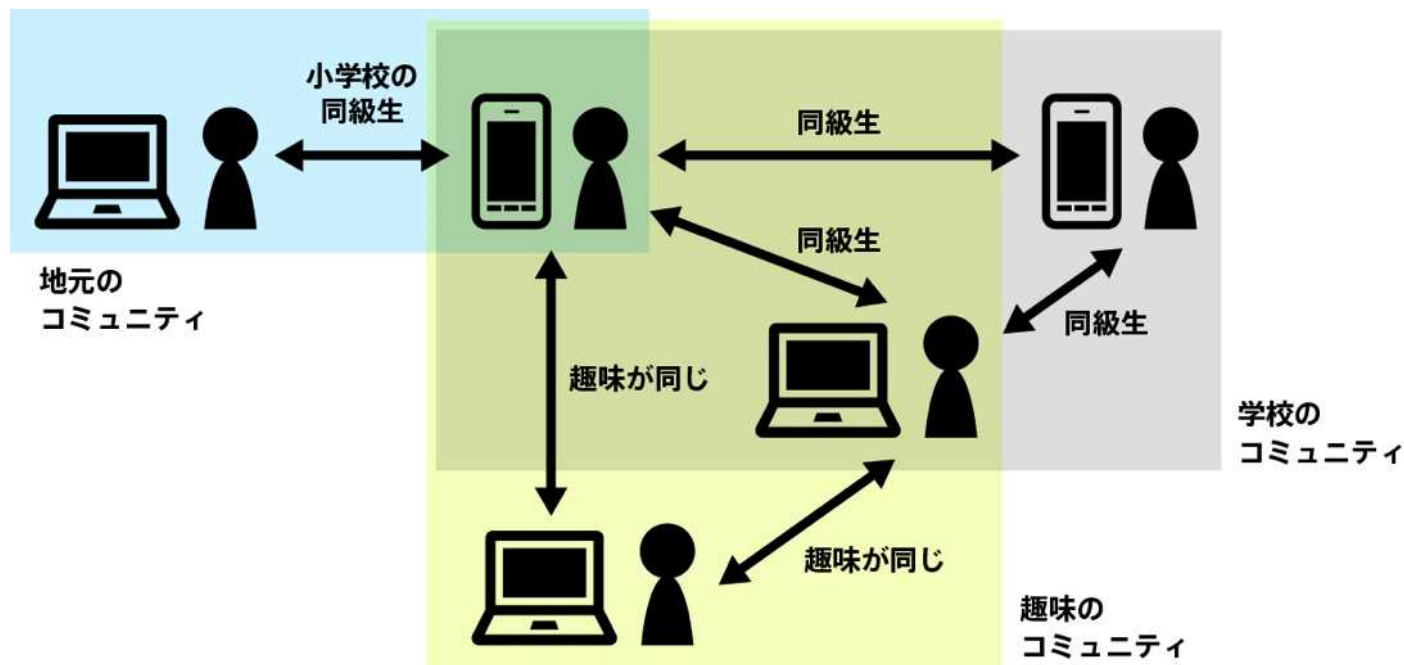


インターネット × 情報収集 × 情報発信

SNS・ミニブログとは



ネット上で色々なコミュニティの人とつながることができるサービス

学校・地元・趣味や友人の友人などつながり、コミュニティを形成することもできる

SNS・ミニブログでどんなことができるのか

- 日記や興味のあること、たわいもないつぶやきなどを投稿できる
- 見たいユーザーをフォローすることで、そのユーザーの投稿が見られるようになる



SNS・ミニブログでどんなことができるのか

- 投稿には写真もつけることができる
- 公開されている他人の投稿に対して、返答する形で自分が投稿することができる
- 他人の書いた投稿に自分が書き込みを加えて、知り合いに発信することもできる



炎上とは

ブログ、ミニブログ等で投稿した失言や不適切な書き込み等をきっかけに、本人に対してウェブ上で非難・批判・誹謗・中傷などのコメントが殺到すること。

主人公だけでなく、
周りの人間の問題点も考えながら
ドラマを視聴してください。

ドラマの振り返り



Ⅰ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



ひびき

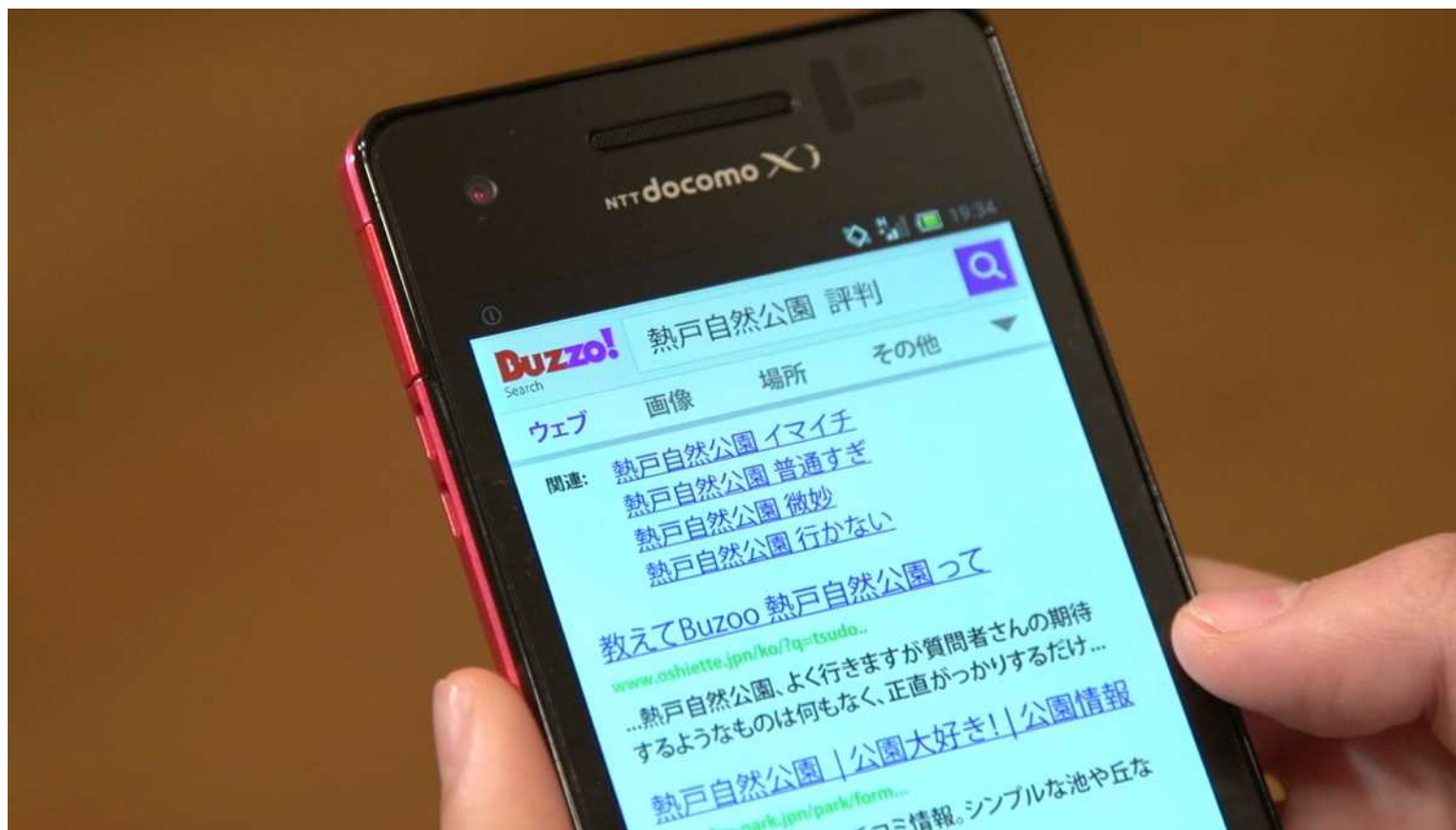
hibiki_tachibana

駅のホームで寝るホームレス

…しかも階段(笑)

この画像見て笑ったひと

拡散よろしくね!



Ⅰ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



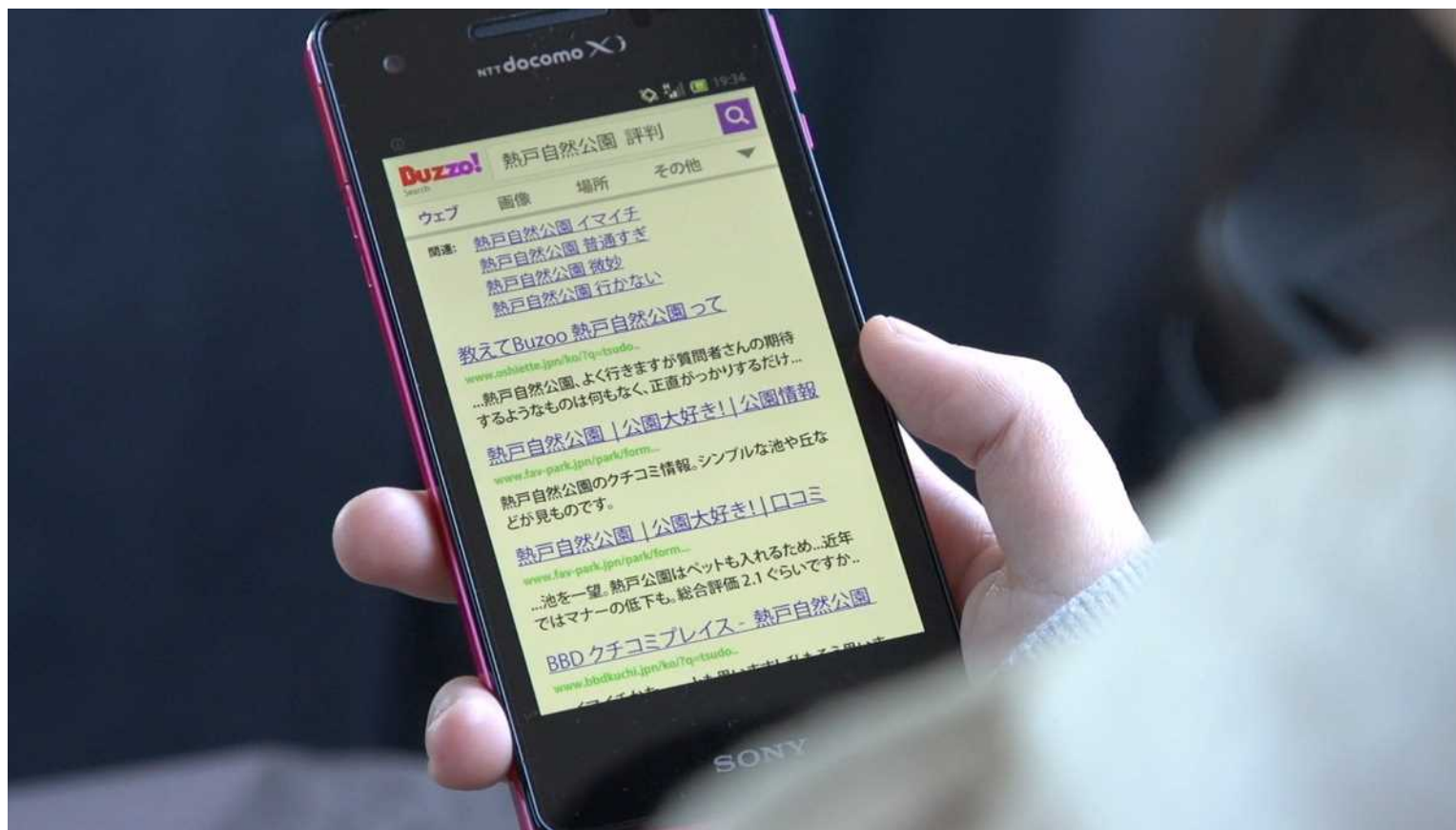




Ⅰ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



Ⅰ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



Ⅰ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



■ 8. インターネット × 情報収集 × 情報発信



どのような行動が問題だったのか？

ミニブログに関する問題点

響の書き込みについて

- 人の写真を勝手に投稿した
- 他人に対して悪意ある書き込みを行った
- 謝罪が本心からではない
- ミニブログを友達以外にも公開している
- アカウントが本名になっている（個人情報を公開している）

第3者の書き込みについて

- 死ねやバカなど口調が悪い
- 正義感から注意している人もいるが、多くは心ない書き込み

響のように書き込みが元で炎上してしまうと、
どんな事が起きるか？

炎上の場合に想定される危険性

- 名前など個人情報が公開される
- 写真が公開される
- 学校に対して苦情が寄せられる
- インターネット掲示板などに載せられる
- webサイト等でも情報が拡散されるので、消しても投稿が残ってしまう
- 住所・学校などが特定される
- 待ち伏せや家へのいたづらをされる
- 友人の書き込みが見られ、それについても公開される
- 友人や学校全体が批判される

ミニブログの炎上によって起きたトラブル事例

某スポーツメーカー社員がミニブログへの投稿で選手を中傷、
会社が謝罪へ

某スポーツメーカーの女子社員が、ミニブログにメーカーと契約しているスポーツ選手が来店したときの様子を投稿。投稿内容に選手や家族への中傷が含まれていたことからインターネット上で非難が殺到、炎上した結果、会社が謝罪する事態へと発展した。

ミニブログの炎上によって起きたトラブル事例

女子高生が「電車内なのに真顔でエロ本よんでる人がいる^ ^」と盗撮し投稿→悪行だとして炎上に

女子高生が電車に乗り合わせた男性が雑誌を読んでいる写真を盗撮し、「電車内なのに真顔でエロ本よんでる人がいる^ ^」と投稿した。しかし、雑誌はおそらく麻雀雑誌であるという事、そもそも無断で掲載していた事が問題となり炎上。個人情報や投稿主の飲酒、喫煙疑惑等様々な情報が晒された。

どちらの事例も投稿が拡散して炎上に発展、個人の特定がされてインターネット上に写真が貼られる事態になってしまった。

インターネット上での発言において 気をつける事は何か？

インターネット上での発言において 気をつける事

- 投稿する前によく見直す
- 他人の写真を載せない
- 他人を中傷しない
- 犯罪行為を書かない
- 個人情報を書けない（自分だけでなく他人のものも）
- 公開範囲を設定する
- 安易に情報を鵜呑みにしない

インターネット上で 情報を集める時の問題点

インターネット上の全ての情報が真実ではない

「レンジでチンするとスマートフォンが充電できる」
というデマが拡散

インターネット上にて「レンジでチンするとスマートフォンが充電できる」というデマが拡散。その情報を鵜呑みにして、本当にレンジに入れてしまったという被害者が続出した。

響は携帯で自然公園について調べた結果、評判が良くないので行くのをためらっていました。このように、インターネットの情報を参考にしている人が多くいますが、インターネットに載っている情報が全て正しいとは限りません。